

防衛施設との共存・生活環境改善の取り組み

調整交付金・再編交付金のあらましと課題



千歳市には、陸上自衛隊東千歳駐屯地、同北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地が所在しており、市街地は三方向から防衛施設に囲まれています。

防衛施設は、航空機騒音や演習に伴う砲撃音、大型車両の通行による振動などを発生するため、市民生活に影響を及ぼしています。

市では、これらの影響を改善するため、国から補助金などの交付を受けて、さまざまな事業を実施しています。

今月の特集は、千歳飛行場に関連する特定防衛施設周辺整備調整交付金・再編交付金のあらましとその課題について紹介します。

◆特定防衛施設周辺整備調整交付金

防衛省が設置し管理する千歳飛行場は、国から**特定防衛施設**の指定を受けており、昭和49年度から特定防衛施設周辺整備調整交付金(調整交付金)が国から市に交付されています。

◆調整交付金の用途

調整交付金は、特定防衛施設の面積や自衛隊の訓練などの状況を勘案して、予算の範囲内で交付されます。

用途は、公共施設の整備や生活環境改善など、政令で定める事業の中から市が決めることができます。

交付額は、平成18年度から27年度の10年間でおよそ68億円、近年は、1年間に7億円から8億円の交付を受けています。

市では、総合計画や重点施策などの整合を図りながら、さまざまな事業に活用しています。

主な活用事例は、左記のとおりです。

◎主な活用事例

- 生活道路の改修・舗装
- 公園の整備・遊具更新
- 小中学校の大規模改修・ICT機器などの整備
- スポーツ・文化施設の改修
- AEDの設置(公共施設)
- 消防車両の更新
- 町内会の防犯灯設置費助成など

◆調整交付金の課題

調整交付金は、特定防衛施設に指定された施設が所在する市町村に交付されます。

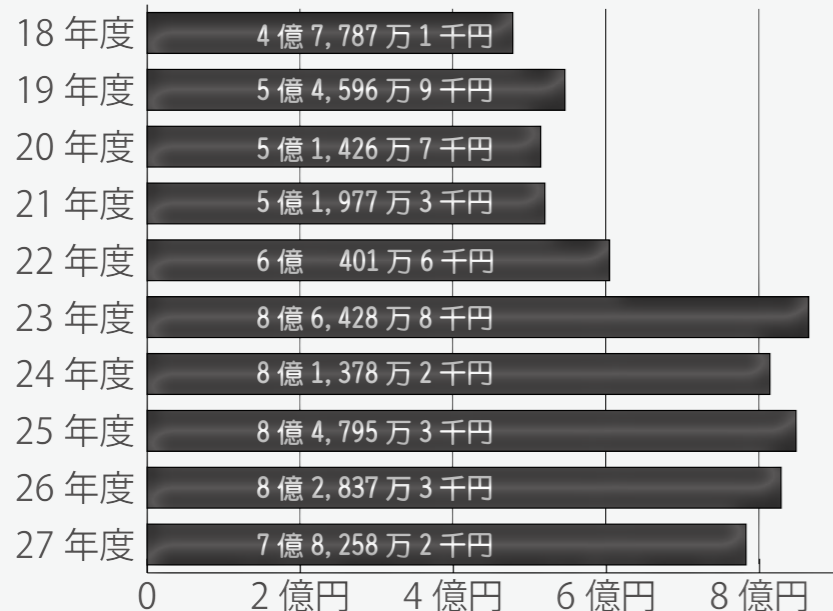
千歳市には、北海道大演習場(千歳地区・東千歳地区)が所在しますが、ここでは実弾射撃による演習が行われていないため特定防衛施設に指定されておらず、交付金の対象外になっています。

特定防衛施設周辺整備調整交付金とは？

また、この交付金は、事業の用途が公共施設の整備や生活環境改善などとされており、他の事業への活用に制約があります。

市は、このような課題を解決し、より使い勝手の良い制度となるよう、防衛省をはじめ関係省庁に制度拡充などの要望を行っています。

調整交付金交付額の推移



※特定防衛施設とは？

〔防衛施設の生活環境の整備等に関する法律より抜粋・要約〕
飛行場や演習場の設置・運用により、周辺地域の生活環境や開発に対して及ぼす影響などを考慮し、管轄する市町村が区域内で行う公共施設の整備や生活環境の改善などの事業に対して、防衛大臣から特に配慮する必要があると認められ、指定された防衛施設。

○ 再編交付金とは？

再編交付金の対象となる事業は、市の総合計画や重点施策、町内会など関係団体の要望を参考に選定しており、とりわけ騒音が大きい地区における地域振興策の一環として実施しています。

◇再編交付金の使途

再編交付金の対象となる事業は、市の総合計画や重点施策、町内会など関係団体の要望を参考に選定しており、とりわけ騒音が大きい地区における地域振興策の一環として実施しています。

この訓練移転の受け入れにより、千歳飛行場は、**再編関連特定防衛施設**の指定を受け、平成19年度から再編交付金が国から市に交付されています。

◆在日米軍再編に係る訓練移転の受け入れと再編交付金
平成17年10月、日米安全保障協議委員会（日米の外交・防衛の閣僚級会議）において、沖縄県嘉手納飛行場をはじめとする米軍航空基地で行われる訓練活動の影響を軽減するため、他の施設に訓練を分散する考えが示されました。また、平成18年5月発表の「米軍再編に係る日米ロードマップ」には、嘉手納、三沢、岩国の飛行場にある米軍施設から、千歳、三沢、百里、小松、築城、新田原の自衛隊基地に航空機訓練を移転することが明記されました。移転先となった千歳市は、国防が国の重要な政策であることを認識した上で、騒音対策の推進や事故・事件に対する国の責任ある対応、関係機関による連絡協議会の設置、市の要望を前提とした地域振興策の実施について国と協議し、確認できたことから、訓練移転の受け入れは、やむを得ないものと判断し、平成19年1月に札幌防衛施設局長（現在の北海道防衛局）と訓練移転に関する協定を締結しました。



防雪柵整備 (南 26 号)



泉郷集会所改修



消防車両 (指揮車) 更新



グリーンベルト活性化 (つどいの広場)

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 (平成 26 年度)

| 事業名 | 事業費 | 交付金 |
|------------------------------|-------------|-----------|
| スクールゾーン標識設置 | 177万1千円 | 160万円 |
| 防雪柵整備 | 2,006万6千円 | 2,000万円 |
| 市道整備 | 1億143万3千円 | 9,950万円 |
| 道路舗装補修 | 2,232万4千円 | 2,231万円 |
| 千歳駅周辺交通バリアフリー地区整備 | 4,117万円 | 3,790万円 |
| 多目的メッセージ機器設置 (駅前電光掲示板) | 2,928万8千円 | 2,859万6千円 |
| 千歳川河川緑地改修 | 5,146万2千円 | 5,130万円 |
| 公園整備 | 1億383万1千円 | 9,960万円 |
| 葬祭場改修 | 823万円 | 820万円 |
| 防犯灯LED化促進事業 (町内会交付金) | 7,715万8千円 | 7,715万8千円 |
| 排水路用草刈機購入 | 252万7千円 | 200万円 |
| 泉郷集会所改修 | 3,610万5千円 | 3,200万円 |
| コミュニティセンター施設整備 (備品) | 86万4千円 | 60万円 |
| 小中学校備品購入 | 672万5千円 | 540万円 |
| 小中学校ICT機器等整備 | 1億318万5千円 | 8,020万9千円 |
| 小中学校大規模改修 | 1億6,373万7千円 | 1億5,258万円 |
| 総合武道館屋根改修 | 3,520万8千円 | 3,440万円 |
| スポーツ施設備品購入 | 474万2千円 | 400万円 |
| 学校水泳プール上屋シート整備 | 869万4千円 | 750万円 |
| 給食センター備品購入 | 3,387万8千円 | 3,160万円 |
| 図書館備品購入 | 52万4千円 | 40万円 |
| AED購入 | 141万4千円 | 140万円 |
| 消防車両 (指揮車) 更新 | 1,209万6千円 | 1,209万円 |
| 消防用救助物品購入 | 73万1千円 | 50万円 |
| 農民研修センター改修 (設計) | 246万2千円 | 200万円 |
| 市営牧場用トラクター購入 | 756万円 | 750万円 |
| 災害応急対策備品購入 (災害時毛布、発電機付投光器など) | 747万円 | 600万円 |
| 共同受信施設修繕 | 206万9千円 | 203万円 |

再編交付金事業 (平成 26 年度)

| 事業名 | 事業費 | 交付金 |
|---------------------|-----------|-----------|
| 自主防災組織育成 (防災資機材貸与) | 207万円 | 170万円 |
| コミュニティセンター施設整備 (備品) | 979万円 | 800万円 |
| 町内会館改修 (町内会交付金) | 1,658万9千円 | 1,389万2千円 |
| 町内会館等備品整備 (町内会交付金) | 3,993万4千円 | 3,497万円 |
| 市道整備 | 6,044万8千円 | 5,330万円 |
| 公園整備 | 1,614万6千円 | 1,500万円 |
| グリーンベルト活性化 | 2億813万8千円 | 2億611万6千円 |
| 環境保全測定機器整備 | 111万2千円 | 110万円 |
| 空地対策備品整備 (刈払機) | 85万3千円 | 70万円 |

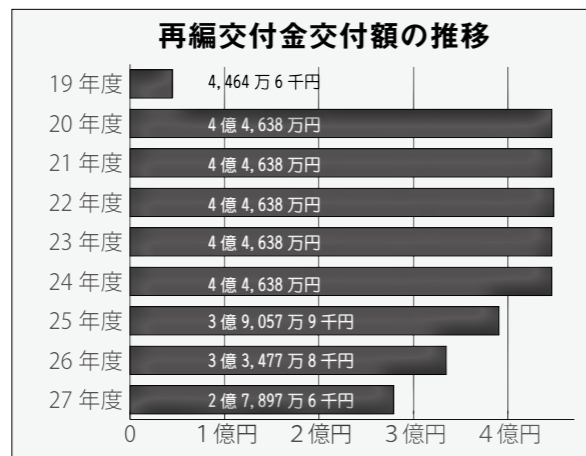
再編交付金とは？

◎主な活用事例

- 生活道路の改修
- 公園の整備・遊具更新
- コミセン整備
- 給食センター改修
- 多目的バス購入
- 小中学校の備品整備など

◇再編交付金の課題

市は、在日米軍再編に係る訓練移転を平成20年から計7回受け入れしており、平成28年1月12日から22日にかけても実施されたところです。訓練移転は、沖縄の負担を軽減するため、平成29年度以降も引き続き実施されるのが想定されます。



また、再編交付金は、再編特措法に基づき、交付期間が平成28年度までと定められています。

このため、訓練移転を受け入れている全国の自治体で構成する「在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係自治体連絡協議会」や千歳市議会などと連携し、訓練移転が引き続き実施されるときは、再編交付金の交付が継続されるよう、防衛省をはじめ関係省庁に要望しています。

※再編関連特定防衛施設とは？
〔駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法(再編特措法)より抜粋要約〕
駐留軍の再編として、他の防衛施設に所在する駐留軍、自衛隊などが訓練のため新たに使用する防衛施設において、周辺地域に居住する住民の生活安定に及ぼす影響に配慮することが防衛大臣から必要と認められ、指定された防衛施設。

◇おわりに

千歳市にとって自衛隊は、国における北方の防衛拠点として機能するとともに、地域防災への任務を通じて、今や市民生活を守る大きな存在になっています。その一方で、防衛施設の設置・運用から生じる騒音などは、市民生活に影響を及ぼしています。今後も調整交付金や再編交付金を有効活用して、これらの影響を改善・緩和していきます。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

この記事の
お問い合わせ
空港・基地課 主査
(基地周辺整備事業調整担当)
☎(24)0468